

川崎地域連合 議長メッセージ

常日頃より、川崎地域連合の活動へのご理解・ご支援に感謝申し上げます。
毎年、核兵器廃絶に向けた街頭行動を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症（BA.5 感染拡大）の影響を鑑み、一昨年・昨年に続き今年も中止とさせて戴きました。

77年前、広島（8/6）・長崎（8/9）に人類史上初めて原子爆弾が投下され、多くの一般市民の命を奪いました。さらに放射線障害、白血病、癌など生涯にわたって身体を蝕み、痛め続けています。核兵器の脅威は、世界中の国や人々が認識しているにも関わらず、今でも 13,000 発以上が地球上に存在しています。しかも、新たに開発を行う国々もあります。

一方、核兵器の保有・製造・使用などを禁止する核兵器禁止条約が 2017 年 7 月に国連総会で賛成多数にて採択され、2020 年 10 月に発効に必要な 50 か国の批准に達したため、2021 年 1 月 22 日に発効されました。しかしながら唯一の被爆国である日本政府は批准していません。なぜなのでしょう。

被爆者健康手帳を持つ人は 15 万人を切り、高齢化が進んでいます。私は核兵器の脅威を資料館などで感ずる事は出来ても、伝えることは出来ません。この脅威を知り、核兵器の無い世界を求めている被爆者の方々が生きている間に、核兵器廃絶を実現するためにも、唯一の被爆国日本が、世界に恥じない行動をとることが求められています。

私たち一人ひとりが平和を求め、平和を願い、行動することが世界を変える力となるはずです。

私たちはその実現のために、核兵器の脅威を共有し、世界平和の思いを一つに訴え続けなければなりません。引き続きご理解・お力添えを衷心よりお願いいたします。

2022年8月2日

川崎地域連合
議長 渡部 堅三